

環境活動レポート



未来へ

人、暮らし、エネルギー。



対象期間：2015.7～2016.6【第60期】



人、暮らし、エネルギー。

白鷺電気工業株式会社

<発行：2017年5月1日 第5版>



エコアクション21[®]
認証番号 0008443

目次



1.	会社概要	1
2.	企業使命感・存続6カ条	2
3.	EA21環境方針	2
4.	実施体制	3
5.	環境負荷設定と環境目標	4
	5-1 環境負荷設定	
	5-2 環境目標	
6.	環境活動計画 2015年度【第60期】	5
7.	環境活動取組結果の評価	6～7
	7-1 環境負荷実績	
	7-2 燃費向上への取組	
8.	環境活動履歴 2015.7～2016.6	8～9
	2015 夏	
	2015 秋～冬	
	2016 春～夏	
9.	各部の取組み	10～17
	発電電部	
	送電部	
	情報通信部	
	電設部	
	営業部	
	管理部	
	安全品質環境推進室	
	イノベーション経営企画室	
10.	八代支社の取組み	18
11.	しらさぎエナジーの取組み	19
12.	環境関連法規への違反・訴訟	20
13.	代表者による全体評価と見直しの結果	21
	ごあいさつ	
	代表者による全体評価と見直しの結果	
14.	次年度の活動計画 2016年度【第61期】	22



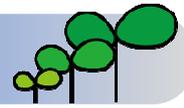


1. 企業名 白鷺電気工業株式会社
2. 代表者 代表取締役社長 沼田 幸広
3. 所在地
- 本社 熊本市東区石原1丁目11-29
 - 八代支社 八代市宮地町1680
 - 福岡支社 福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3階
 - 京都支社 京都市右京区梅津南広町6-1 エスパシオ梅津4-A号
 - 人吉営業所 人吉市願成寺町1343-1
 - 鹿児島営業所 鹿児島市西千石町11-21 鹿児島MSビル6階
 - 水俣営業所 水俣市浜町1丁目2-22
 - しらさぎエナジー株式会社 上益城郡益城町小谷2224-8
4. 事業規模
- 1) 資本金 1億円
- 2) 事業内容 電気工事業（電力プラント、情報通信設備サービス、新電気エネルギー、快適電化サポート、省エネ・省コストサポートの各種事業）、再生可能エネルギー等による発電並びに電気の供給及び販売・設計・施工・コンサル・運用管理・監視
- 3) 従業員数 119名（2016.6.30現在）
- 本社：71名 八代支社：37名 京都支社：7名 福岡支社：1名
 人吉営業所：1名 鹿児島営業所：1名（送変電ネットワーク本部長兼務）
 水俣営業所：1名（京都支社長兼務）
 しらさぎエナジー：4名（2名は白鷺電気社員兼務）
5. 環境管理責任者名および連絡先
- 1) 氏名 環境管理責任者 安全品質環境推進室長 二俣 治雄
 EA21推進担当者 安全品質環境推進室 担当 谷本 里恵
- 2) 連絡先 本社 電話：096-380-7171 FAX：096-380-7140
 URL <http://www.shirasagidenki.co.jp>

しらさぎでんき

検索





企業使命感

くらしと産業の礎をひらく
パートナーシステムの白鷺電気工業

存続6ヶ条

1. 〈安全〉 私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくります。
2. 〈協調〉 私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
3. 〈技術〉 私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
4. 〈啓発〉 私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日今日よりも明日と自分をみがきます。
5. 〈システム〉 私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行ないます。
6. 〈業績〉 私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げるにより信用・業績を高めます。

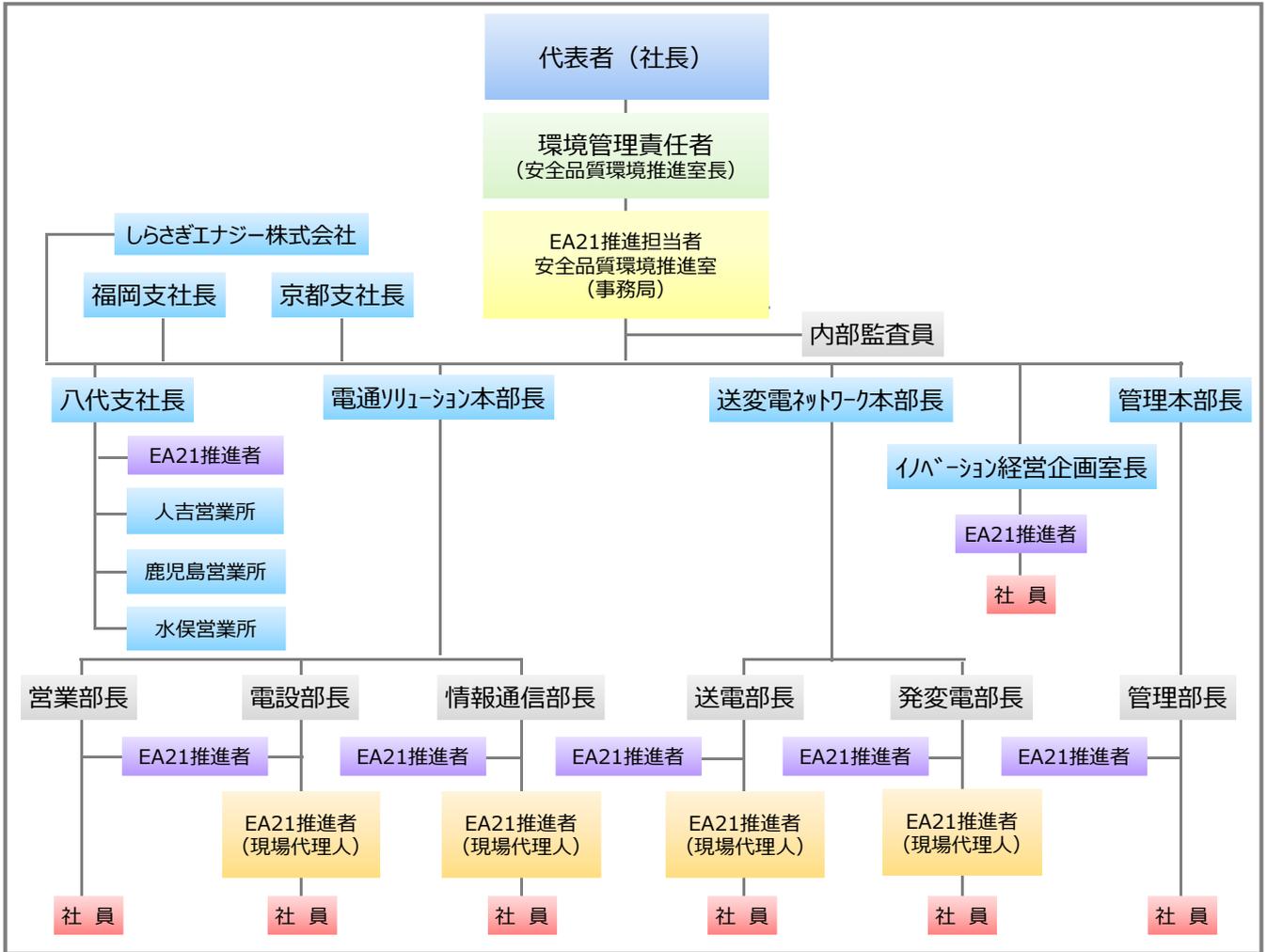


我社は、「企業使命感」及び「存続6ヶ条」を使命とし、事業活動において生じる環境への影響を最小限に抑えるために、以下の方針を基に環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善します。

1. 日常の業務において環境へ与える影響を把握し、技術的・経済的に可能な範囲で次の各項目を環境管理の重点課題として取り組み、環境負荷の低減と汚染の予防に努めます。
 - a. 建設機械及び車両の環境影響の低減
 - b. 事業廃棄物の発生抑制、再利用及びリサイクルの推進
 - c. 省資源・省エネルギーの推進
 - d. 水使用量の削減
 - e. グリーン購入の推進
 - f. 製品・サービスに関する環境配慮
 - g. 化学物質の適正な管理
2. 我社の事業活動に関わる環境関連の法規制及び、受入れを決めたその他の要求事項を遵守して、継続的に取組みます。
3. この環境方針を全社員に周知し、これを理解し実践できるよう教育活動を推進すると共に、我社の環境保全活動について、ご理解ご支援を頂くために一般の方々にもこの環境方針を含め環境活動レポートを公開します。

制定 2011年12月1日
改訂 2014年 9月1日

白鷺電気工業株式会社
代表取締役社長 沼田幸広



順位	主な責任と権限
代表者（社長）	環境方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境への取組を適切に実行するための資源（人・もの・金）の準備
環境管理責任者	代表者より委任をうけ環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境活動計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境活動レポートの確認と公表
EA21推進担当者（事務局）	環境活動における事務局としての環境管理責任者の補佐 活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 環境関連法規の取りまとめ及び環境活動レポートの作成、環境管理責任者への報告
EA21推進者	環境活動の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
EA21現場推進者（現場代理人）	環境活動の現場における記録と事務局への報告 現場内における緊急事態への対応訓練実施と記録及び事務局への報告 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
全社員	環境方針、環境目標に沿った活動の展開 環境活動における改善点の提言



5-1 環境負荷設定

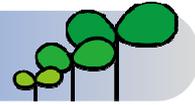
項目		2010~12の平均	2010実績	2011実績	2012実績
二酸化炭素 排出量	総排出量	349,695Kg-CO2	351,449Kg-CO2	348,087Kg-CO2	368,722Kg-CO2
	電力	95,125kWh	125,648kWh	97,732kWh	92,517kWh
	ガソリン	91,790 ℓ	90,727 ℓ	89,484 ℓ	95,159 ℓ
	軽油	26,165 ℓ	20,661 ℓ	26,944 ℓ	30,890 ℓ
	灯油	4,296 ℓ	4,206 ℓ	4,152 ℓ	4,529 ℓ
一般廃棄物排出量		6,563kg	7,775kg	7,010kg	4,905kg
産業廃棄物排出量		22,344kg	18,444kg	23,159kg	25,430kg
水使用量		579m ³	-	-	-
化学物質購入量		2,660 ℓ	1,062 ℓ	6,214 ℓ	704 ℓ

※電力は2011~12の平均を基準とした。(LED化による改善で大きく削減されたため)
 ※水使用量は2012年度途中からメーターを設置したため2013年データを基準とする。

5-2 環境目標 * 2010~2012年の平均を基準とし、目標の中期計画を立てた。

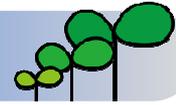
区分	項目	基準年	3年間の目標		
		2010~12の平均	2013目標	2014目標	2015目標
二酸化炭素 排出量	総排出量の削減	349,695Kg-CO2	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			346,198Kg-CO2	342,701Kg-CO2	339,204Kg-CO2
	電力の削減	95,125kWh	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			94,173kWh	93,222kWh	92,271kWh
	ガソリンの削減	91,790 ℓ	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			90,782 ℓ	89,954 ℓ	89,036 ℓ
	軽油の削減	26,165 ℓ	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			25,903 ℓ	25,642 ℓ	25,380 ℓ
	灯油の削減	4,296 ℓ	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			4,253 ℓ	4,210 ℓ	4,167 ℓ
一般廃棄物 排出量	産業廃棄物削減 (リサイクル率向上)	6,563kg	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			6,498kg	6,432kg	6,366kg
産業廃棄物 排出量	産業廃棄物削減 (リサイクル率向上)	22,344kg	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			22,121kg	21,897kg	21,674kg
水使用量	水使用量の削減	579m ³	基準年度比▲1%	基準年度比▲2%	基準年度比▲3%
			-	567.4m ³	561.6m ³
グリーン購入	グリーン購入 の推進	2件	基準年度	基準年度	基準年度
			1種類増加	2種類増加	3種類増加
環境に配慮 した事業活動	社会への啓発 活動の推進	販売・イベント 参加：4件/年	販売・イベント 参加：4件/年	販売・イベント 参加：5件/年	販売・イベント 参加：6件/年
化学物質の 管理	化学物質削減適 切な管理	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認
			1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期

(注記) 1. 電気の二酸化炭素排出係数は2012年度九州電力の実排出係数0.612を使用する。
 2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びSDSに沿った適切な取扱いと管理の実施を行う。



* 環境方針にもとづく環境影響削減及び抑制と広報活動

No.	項目		活動の具体的内容	活動場所	担当部門	
1	二酸化炭素	ガソリン・軽油等 燃料使用状況の 精度向上	車両管理表への記入徹底を呼 びかけ、燃費を管理する	一般道 高速道	全部門	
			エコドライブとエコサム導入による 燃費向上	業務中・通勤		
2	環境配慮	省エネ提案	お客様への省エネ提案 (地域社会への省エネ貢献)	市場	営業部 電設部 イノベーション経営企画室	
3			植林ボランティア	南阿蘇村	NPO法人しらさぎ	
4			地域に役立つ社会貢献として熊 本城と八代城址の清掃活動	熊本市 八代市		
			2016くまもと環境フェアへの参 加	熊本市		
5			マイリバーサポートへの参加	熊本県	営業部	
6			クリーンエネルギー 事業の活用	太陽光発電所発電事業	本社 益城町	営業部・電設部 しらさぎエナジー
7	産業廃棄物	現業部門排出量 実態把握	マニフェストの管理と分別収集の 徹底	本社・八代支社 各建設現場	現業部門 間接部門	
8	電気・ 水使用量	電気・水使用管理	使用量の把握と削減	本社・八代支社 福岡支社 京都支社	管理本部 福岡支社 京都支社	
9	化学物質	SDSに基づく 適正管理	倉庫の整理・整頓 (SDS製品の徹底管理)	本社・八代支社 各建設現場	発変電部	
10	環境全般	各事業所単位の 環境活動支援	環境教育の充実	教育資料の作成と部会に参加 し環境教育を実施する	本社・八代支社 各建設現場	安品環推進室
11			地域ボランティアによる環境配慮	本社・八代支社 人吉営業所	管理本部 発変電部 送電部 電設部	
			車両経費の削減		管理本部	
			新エネルギーの推進	イノベーション経営企画室		
			グリーンカーテンの実施	本社・八代支社	管理本部	
グリーン調達の推進						
12	E A 21取組み	E A 21環境教育と意識の向上 エコ検定	本社・八代支社 各建設現場	全社 送電部 安品環推進室		

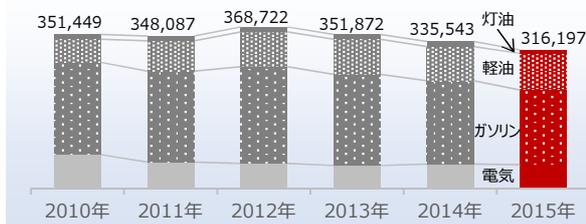


環境目標と取組み実績（運用期間：2015年7月～2016年6月）

7-1 環境負荷実績 *数値目標は2010～2012年度の平均を基準とし、3%削減を環境目標とした。

項目	2010～2012平均	2015年 対象期間		
	基準年実績	目標値	実績	達成度
CO2排出量	349,695kg-CO2	339,204kg-CO2	316,197kg-CO2	107%
電気使用量	95,125kWh	92,271kWh	87,881kWh	105%
ガソリン使用量	91,790 ℓ	89,036 ℓ	73,451 ℓ	121%
軽油使用量	26,165 ℓ	25,380 ℓ	32,244 ℓ	79%
灯油使用量	4,296 ℓ	4,167 ℓ	3,409 ℓ	122%

■ CO2排出量(kg-CO2)



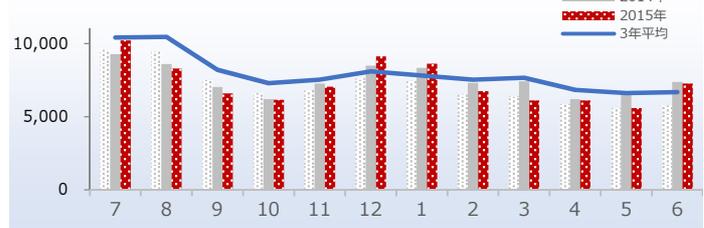
■ 売上高(百万円)当りのCO2排出量(kg-co2/百万円)



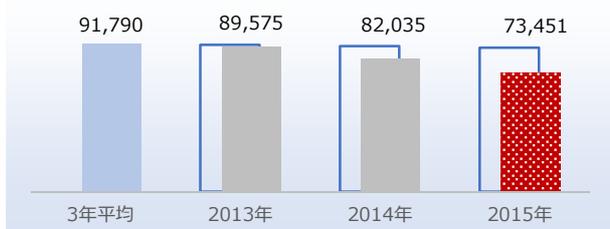
■ 年度別 電気使用量(kwh)



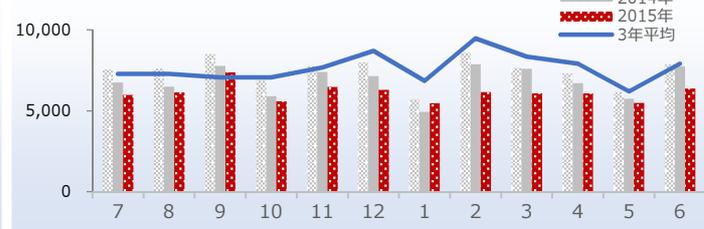
■ 月別 電気使用量(kwh)



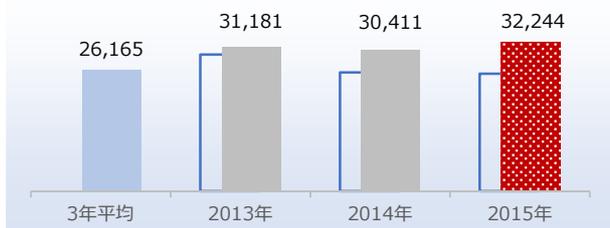
■ 年度別 ガソリン使用量(ℓ)



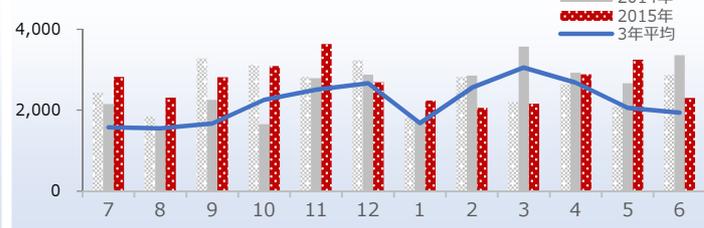
■ 月別 ガソリン使用量(ℓ)



■ 年度別 軽油使用量(ℓ)



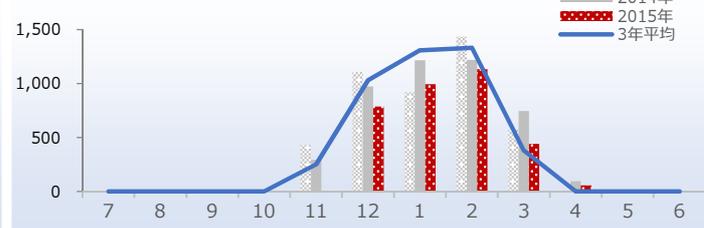
■ 月別 軽油使用量(ℓ)



■ 年度別 灯油使用量(ℓ)

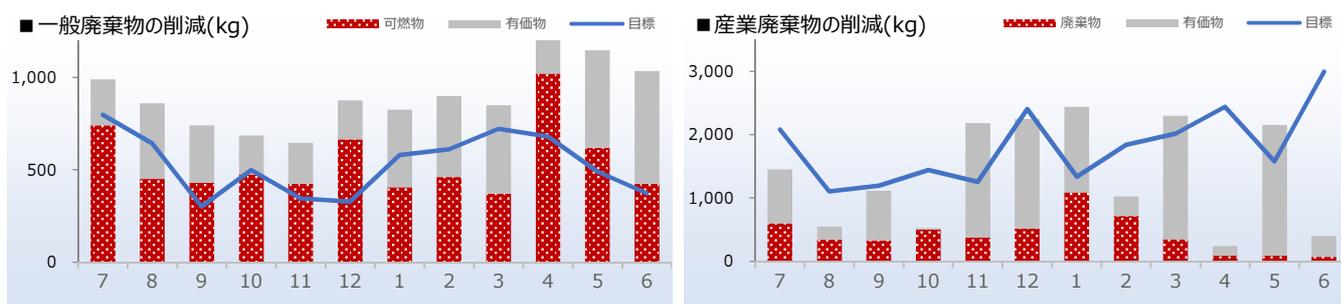


■ 月別 灯油使用量(ℓ)





項目	2010～2012の平均	2015年 対象期間			
	基準年実績	目標値	実績	達成度	
一般廃棄物の削減	6,563kg	6,366kg	10,762kg	59%	😞
産業廃棄物の削減	22,344kg	21,674kg	16,612kg	130%	🏆
水使用量	579m³	561.6m³	580m³	97%	😊
グリーン購入	2件	5件	4件	80%	😊
環境活動に配慮した事業活動	参加：4件/年	参加：6件/年	参加：6件/年	100%	🏆
化学物質購入実績	2,660ℓ	—	315.76ℓ	—	—



- 「環境目標と取組み実績」において、ガソリン使用量が前年対比で10%減少したのは、燃費効率の良い車両（軽ワゴン・普通ライトバンを含め11台）を導入したのが良い結果に結び付きました。
- 軽油は、11月度には現場が輻輳、また5月度は震災後の災害復旧工事でリース車を増車したため増加しました。
- 一般廃棄物は達成度59%と目標未達成ですが、震災後、本社及び倉庫の片付けをしたため、4～6月は平均より15～35%増加しました。なお、産業廃棄物については、業者による収集が困難だったため減少しているが、5月度の数値が高いのは、被害が少なかった八代支社が主でした。

7-2 燃費向上への取組 (平均燃費13.9km/ℓ ハイブリッド車を含む)



白鷺燃費 No.1 グランプリ

普通ライトバン 部門

🏆1	36号車	14.6km/ℓ (送電部)
🏆1	40号車	14.6km/ℓ (送電部)
🏆3	39号車	14.3km/ℓ (送電部)

軽ハコバン 部門

🏆1	72号車	16.4km/ℓ (送電部)
🏆2	73号車	16.1km/ℓ (送電部)
🏆3	24号車	13.8km/ℓ (発変電部)

- 今期より担当者が変更になり、前年の目標で提出率90%までアップした燃費管理表の提出が継続出来ず、正確なデータが取れなかったのが、グラフに違和感を感じられますが、来期では部員へ呼びかけ、提出率アップに繋げたい。
- 運転状況を可視化するシステム『エコサム』を9月より15台導入し、社員109名が約5日ずつ診断を実施しました。目標を10.0と設定し平均が8.2で89%が目標を達成しました。しかし、目標未達成の社員を重点的に実施したため、測定回数が1～7回と大きな差が発生しました。
【第61期】は、目標を7.5とし、効率の良い運用方法を心掛け、安全運転の意識向上に努めていきたいと思ひます。



2015 夏	本社社名看板新設	2015.07	本社	本社入口に丸太で作成した看板が設置
	第12回熊本城清掃ボランティア	2015.07	熊本市	熊本城石垣の清掃 参加者301名
	八代城跡・水島清掃ボランティア	2015.08	八代市	八代城跡石垣と水島の清掃 参加者170名
	「八代市有功者」表彰★	2015.08	八代市	八代市より



H28年熊本地震(2016.4.14・16)では、長い歴史のある熊本城にも大きな被害をもたらしました。復旧には概ね20年かかるといわれています。今まで継続して清掃ボランティアを実施していただけに、大きな衝撃を受け、言葉を失いました。

「行って良かった！
日本の城2014年」で
堂々の2年連続1位！



小雨の降る中での開催となりました。

2015.7.4 第12回熊本城清掃ボランティア 過去最高 301名の参加



2014.3.18 国指定史跡

八代城跡



2015.8.1
第16回八代城跡・第8回水島
清掃ボランティア 170名の参加



ラジオ体操は基本ですね！

今年は、「池ポチャ」なかったかなあ・・・



4年連続になる歴史講話





2015 秋～冬

南阿蘇村下草刈り	2015.09	南阿蘇村	0.16ha 500本の下草刈り 参加者11名
マイリバーサポート	2015.09	熊本県	白川・鹿帰瀬地区清掃活動 参加者10名
「熊本県森林吸収量認定書」★	2015.09	熊本県	年間0.95 t の二酸化炭素の吸収量
いちごの苗植付け	2015.10	本社	本社屋上緑化 今年で6年目の植付け
「肥後の水とみどりの愛護賞」受賞★	2015.10	熊本県	水資源保全活動や緑化推進の取組
本社駐車場リニューアル	2015.12	本社	駐車場の全面舗装化と緑地化
消防訓練	2015.12	本社・支社	本社・支社火災訓練及び電気供給訓練



15.10.14 いちごの苗植付け

中期経営計画「Next Innovation 29」スタート

**Next
Innovation
29**

『新たな価値を生み出して変化を起こす。新たな技術革新』を目的とし、従業員が一丸となって新たな事業に取り組みます。
100周年を目指し、人を大切にする企業、人を育てる企業でありたい。



15.12.23 本社駐車場リニューアル

2016 春～夏

「H27年度熊本市減量美化功労者」受賞★	2016.02	熊本市	熊本城の石垣除草・清掃活動に対し
「ブライ企業」認定★	2016.02	熊本県	県内39社に交付
南阿蘇植林活動	2016.03	南阿蘇村	0.16ha 500本新植 参加者44名
熊本地震	2016.04	熊本県	震度7の大地震により本社も被害
南阿蘇村下草刈り	2016.06	南阿蘇村	0.32ha 100本の下草刈り 参加者14名



16.6.11 南阿蘇村下草刈り



4.14、16 2度の巨大な地震で、社屋にも大きな被害が出ました。

平成28年
熊本地震



★受賞・認定★

今期も様々な賞を受賞しました。
皆さまのご支援に感謝いたします。

永年の八代城跡清掃活動に対して



8.1 「八代市有功者」受賞

熊本県森林吸収量認定書 5年連続!



9.28 「熊本県森林吸収量認定書」

水資源保全活動や緑化推進など



10.27 「肥後の水とみどりの愛護賞」

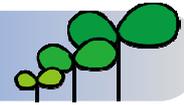


2.5 「27年度熊本市減量美化功労者」

蒲島知事より



2.23 「ブライ企業」認定



	1. 整理（SDS製品の管理徹底） 使いやすく、整理整頓されていて、安全な倉庫維持を行う。 ・レイアウトの変更（レイアウト図の作成、工具棚の表示） ・機械、工具の整備 ・SDS製品の管理徹底	S
	2. 地域ボランティアによる環境配慮 ・大口工事件名について、変電所周辺のゴミ拾い、その他作業については、空き時間を利用し除草作業を実施する。 ・停止作業時、停止操作の待ち時間を活用し、トイレ清掃、除草作業の実施	S
達成度評価 S : 100%以上 A : 90%~100% B : 80%~90% C : 60%~80% D : 60%未満		
	来期の取組 1. SDS製品の管理徹底 ・管理基準を作成し在庫数量や表示、施錠状態をチェックする ・SDSの勉強会を年2回実施する ・油倉庫内の保管数量等を見直しチェックする。 2. 地域ボランティアによる環境配慮 ・大口工事件名について、変電所周辺のゴミ拾い、その他作業については、空き時間を利用し除草作業を実施する。 ・停止作業時、停止操作の待ち時間を活用し、トイレ清掃、除草作業の実施	

倉庫整理状況

倉庫内



作業もスムーズ



油倉庫内



地域ボランティア状況



2015.7.1
大江変電所周辺
発変電部 6名
大祐電気 2名



2016.1.8
大江変電所周辺
発変電部 2名
大祐電気 2名



2016.2.1
日吉変電所周辺
発変電部 2名
光洋デンショウ 2名



2016.4.8
大津変電所周辺
発変電部 1名
光洋デンショウ 3名



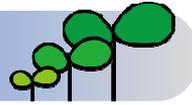
◆燃費管理表の提出率48% 平均燃費12.5km/ℓ（前年比0.4↓）



工具等は所定の位置に戻し、都度整理整頓を行っています。また、工具等の整備も実施してます。地域ボランティアでは、10箇所延べ58名の活動を報告致します。

発変電部 EA21推進担当 石橋 健





<p>EA21 運用と定着</p>	<p>1. エコ活動による経費削減 ・運転チェックリストを活用し、運転技術を向上させ工事車両の平均燃費を上げ、経費削減を図る。目標値：58期及び59期の平均燃費から3%向上</p>	S
	<p>2. エコ活動の推進 ・EA21の取組について、主に若年層の意識を向上させる為、部会時に取組について周知を含め、部内または安品環推進室による勉強会を実施する。</p>	S
	<p>3. ボランティア活動 ・環境配慮に伴い、支社周辺のゴミ拾い及び清掃活動を実施する。</p>	S
<p>達成度評価 S：100%以上 A：90%～100% B：80%～90% C：60%～80% D：60%未満</p>		
<p>Action</p>	<p>環境配慮活動を継続します。 来期の取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エコ活動の推進 ・工具・機材による災害や作業遅延を防止する為、持出しや返却時の点検整備を強化する。 2. ボランティア活動 ・環境配慮に伴い、支社周辺及び現場周辺のゴミ拾い又は清掃活動を実施する。 	

■支社周辺のゴミ拾い及び清掃活動実施



■EA21の取組勉強会



安心してください！
燃料チェックしてますよ。



◆燃費管理表の提出率98% 平均燃費12.7km/ℓ (前年比0.0→)



白鷺燃費No.1グランプリでは、
普通ライトバン部門 1～3位
軽ハバン部門 1・2位を
みごと送電部が受賞しました。



現場周辺の清掃活動も実施できるように各現場
代理人へ呼びかけ、環境配慮活動への意識高
揚を図ります。

送電部 EA21推進担当 今村 忠和





	部員の自家用車の燃費管理を行い、CO2削減と部員の意識改革に取り組む。 1. エコ運転の教育を実施 2. スマートフォンのアプリ等を活用し、燃費データを作成 3. 集計したデータを基に、グラフ表示し燃費の向上率や変化を意識づける 4. 燃費向上が見られなかった部員に対して、改善指導を行う	A
	SDSの管理意識を高める ・部会時に再周知し、対象保管物の数量把握し管理表で管理する ・倉庫パトロールによる指導事項「0」目標	A
達成度評価 S : 100%以上 A : 90%~100% B : 80%~90% C : 60%~80% D : 60%未満		
	継続してエコドライブを心掛ける。SDSの取扱いについて継続して教育する。 来期の取組 1. 地域ボランティアによる環境配慮 ・お客様設備の清掃活動を行う。 2. 書類と機材工具の管理方法を改善 ・部が所有している機材工具類をコンテナ化する	

私有車燃費管理グラフ



- エコドライブ10のすすめ●
1. 環境省のHP掲載の「エコドライブ10のすすめ」を終礼時に毎日紹介し意識付けをする。
- 誰でもできるエコ運転術●
1. JAFのHP掲載の「誰でもできるエコ運転術」を活用し誰にでもわかりやすく実践しやすい内容を選定し、毎月の数値結果とともに配信して改善を促す。

燃費の管理表を記録してもらい翌月初に提出を促していたが、当初はなかなか提出が揃わない状態であった。根気強く提出を促し続けるうちに、翌月初ではなく月末になると自ら管理表を提出する部員が始め、期末になるとほとんどの部員が声掛けをしなくても提出するようになり意識の改善が認められた。

●SDSの管理意識を向上させる取り組み●

1. 製品の各メーカーよりSDS（セーフティデータシート）を取り寄せ、取扱事項について確認し、現場代理人がその有毒性について班員に説明・注意喚起する。
2. 月に一度、使用状況について管理簿へ記録する。



当初、部員に危険物質を使用しているという意識が乏しかったが、SDSでその有害性を調べるうちに部員全員で知識を共有して管理することが重要であるとし、管理の継続と取扱いにおける業務フロー（社内ルール）の徹底を図った。



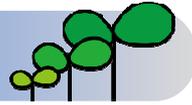
SDS管理状況

◆燃費管理表の提出率83% 平均燃費13.5km/ℓ（前年比1.0㍊）



当初、私有車の燃費管理は難しい面もあるように思いましたが、部員の協力でデータを管理することが出来ました。地震の影響で企画倒れにはなりましたが熊本市から講師を派遣してもらえるエコ運転の出前講座は実現させたかったです。

情報通信部 EA21推進担当 日笠山 靖晃



	1. お客様への省エネ提案（地域社会への省エネ貢献） ・自然エネルギーや省エネ機器（LED等）への取替を提案し、地域社会のエコ意識向上と工事受注への足掛かりとする。 LED照明リニューアル、省エネ型エアコンデマンド制御、高効率トランスへの更新、高圧需要家へのエネセーバーの提案	B
	2. 公共工事現場における清掃活動の支援参加 ・周辺道路等の清掃活動を行い、顧客とのコミュニケーションを図り信用を構築する。 ・地域ボランティア活動への意識高揚を図る	A
達成度評価 S：100%以上 A：90%~100% B：80%~90% C：60%~80% D：60%未満		
	お客様への省エネ提案を行い、清掃活動の支援参加を行う。 来期の取組 1. 八代支社のLED化 ・支社の照明をLED化、引込受電を見直すことで費用効果を試算する。電気料金削減により、費用回収期間等を管理本部と協議し、実施する。 2. 公共工事現場における清掃活動の支援参加 ・官公庁受注工事物件における周辺道路等の清掃活動を行い、顧客とのコミュニケーションを図り信用構築をする。又各自地域ボランティア活動への意識の高揚を図る。	

八代支社太陽光及び蓄電池システム



施工前



施工後



主な清掃活動



周辺道路をきれいにすることが出来て、大変気持ちが良かったです。これからもこの活動を通して、社会にも貢献したいと思います。



◆燃費管理表の提出率69% 平均燃費12.5km/ℓ（前年比0.8↘）



電設部では公共工事現場の清掃活動、太陽光及び蓄電池システムの設置、事業所のLED更新工事を行っています。

電設部 EA21推進担当 緒方 佑太





<p>EA21 運用と定着</p>	<p>環境方針に基づく環境影響の削減及び抑制と活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブによる二酸化炭素の放出削減と車両事故防止を図る ・エコサム導入による波状運転指数の低減を行い、車両の燃費と危険度の低減を図る。 ・四半期毎に車両に同乗して運転状況を確認し指導を行う 	<p>C</p>
<p>達成度評価 S：100%以上 A：90%～100% B：80%～90% C：60%～80% D：60%未満</p>		
<p>Action</p>	<p>エコサムの波状運転指数が目標に達しなかったため。</p> <p>来期の取組</p> <p>環境方針に基づく環境影響の削減及び抑制と活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコサムを利用し二酸化炭素低減と地球温暖化防止の為、環境にやさしい運転の実施を行う。 	



「南阿蘇村 白鷺の森」
植林ボランティア



熊本市は白川と緑川の上流域に流域保全や水源涵養を目的とした森林整備を進めています。この日は総勢44名で、熊本市より借用した南阿蘇村久石の造林地に、ヤマグリ・ヤマザクラ・ヤマモミジ合わせて500本の落葉広葉樹を新植しました。これから5年間、下草刈りを続け、育てていきます。

(H28年3月12日実施)



(H27年9月19日実施)

くまもと
マイ・リバー・サポート事業

くまもとマイ・リバー・サポート事業とは、県が管理する河川で、除草や清掃、花の植栽といった美化活動のボランティアを行う個人や団体を支援する事業の事です。昨年に引き続き、近隣の白川・鹿帰瀬地区河川敷の清掃作業を行いました。



(H28年2月27日実施)

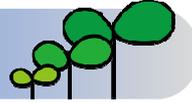


きれいな河川を目指し取り組んでいきます。

営業部 EA21推進担当
井田 賢利



管理本部



<p>EA21 運用と定着</p>	車両経費削減 ・過去1年間のレンタル車両集計 ・車両管理システムの検討	B
	達成度評価 S : 100%以上 A : 90%~100% B : 80%~90% C : 60%~80% D : 60%未満	
<p>Action</p>	各部の必要車両の調査を行い、レンタルからリース車への移行を打ち合わせる。 高速カードの出入りについては、確認を周知徹底し、新規ボードを作成する。	
	来期の取組 1. CO2の削減 ・ノーマイカーデーの実施 2. ボランティア活動 ・NPO主催のボランティア活動への積極的参加及び自主的清掃活動の実施	

■車両経費削減

部	レンタル（1年以上） 台数	レンタル希望 台数		移行車両
変電部	0	3	4	プロボックス 2台、ハイエース 2台
送電部	0	1	1	プロボックス 1台
通信部	0	0	1	軽ワゴン 1台
電設部	2	2	1	ハイゼット 1台

車種	台数	レンタル	リース	削減
ハイエース	2	85,000	31,500	-107,000
プロボックス	3	39,300	23,200	-48,300
軽ワゴン	1	39,300	17,000	-22,300
2tトラック	1	77,000	53,000	-24,000
			合計	-201,600

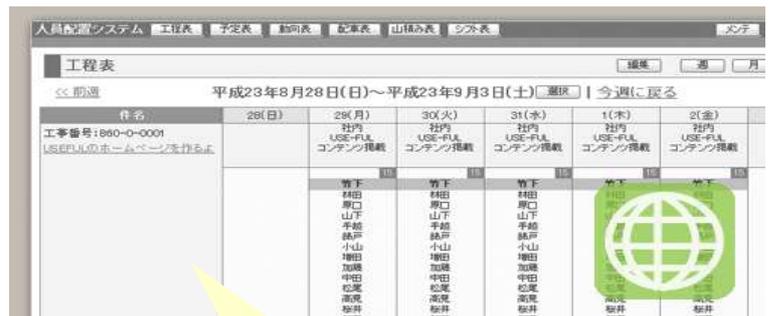
ハイエースは、
レンタルするより
リースした方が、
断然お得！！



1ヶ月あたり 201,600円の経費削減が見込める

■車両管理システムの検討

人員配置システム「HyChee(ハイチ)」を導入
 工程管理に併せて、人員と車両を配置し、車両の空き状況や稼働率の動向を管理する。
 予定登録により、「予定がない」「車両が足りない」などの管理ミスを削減し、ムリ・ムダのない計画的な人員車両配置ができる。
 (第61期より導入予定)



工程に合わせて
人員・作業車両を
登録！

◆燃費管理表の提出率100% 平均燃費19.8km/ℓ (前年比12.4%)



システム導入で終わることなく、来期からは運用管理を徹底していきます！

管理本部 EA21推進担当 清田 辰也



安全品質環境推進室



EA21
運用と定着

燃費向上によるCO2削減
 ・燃費削減に向けた表彰制度を設け、社員の意識によるCO2削減を呼び掛ける。
 (エコサムの導入計画)
 ・エコサムの導入を行い、社員の波状運転指数を確認し、ランキングの発表と指導を行う。
 (本社・支社合計15台を購入予定)

A

達成度評価 S : 100%以上 A : 90%~100% B : 80%~90% C : 60%~80% D : 60%未満

Action

来期の取組

- 燃費向上によるCO2削減
エコサムを活用し、交通事故防止「ゼロ」を目指す。
- 燃費削減に向けた表彰制度を設け、社員の意識によるCO2削減を呼び掛ける。

■エコサム導入 (2015.9 15台導入)

ECO-SAM

今期目標を波状運転指数【10以下】と設定
 * 波状運転指数 10以下が安全&エコドライブと言われている。

紛失防止の為の専用ケース

ECO-SAM

導入当初は、部門毎に診断を行っていたが、後半は設定を変更し、目標未達成者を対象に実施した。
 結果、診断回数が1~7回と大きな差が出た。運用方法が思うように行かず、データを取るのが大変だった。

ECO-SAM

109名の診断を実施し、平均が8.2で89%が目標を達成するという好成績を収めました。目的意識のある人や、数値に興味を持って取り組んでいる人は、どんどん改善されていくのが目に見えて解りました。

ECO-SAM

『エコサム』を活用し安全運転を心掛けた結果、急加速・急減速が減り、燃費も向上し、CO2排出量の削減にも貢献出来ました。来期は目標値を【7.5以下】に設定し、目標達成率100%を目指します。



部門別ランキング ベスト5

順位	部門	平均波状運転指数
1	イノベーション経営企画室	6.269
2	電通ソリューション本部	7.079
3	営業部	7.230
4	情報通信部	7.512
5	送電部	7.873



2016.3.5「安全の日」

(株)ワード『安全運転はエコ運転』をテーマに講演があり、「交通事故の傾向」から始まり、「車間距離」「3秒後を予測する」など、安全運転とは何かを再確認する事ができました。講習後のエコサム診断では、“安全運転のコツが掴めた”などの感想がありました。



内部監査報告会の様子

◆燃費管理表の提出率100% 平均燃費12.9km/ℓ (前年比0.1↓)



初めての環境レポート作成は、前任者の協力を得、やっと完成しました。来期はPDCAを回し、定期的なチェックを心掛けます。

安全品質環境推進室
EA21推進担当 谷本 里恵



イノベーション経営企画室



<p>EA21 運用と定着</p>	1. 新エネルギー関係 ・蓄電設備の導入、支援 ・バイオマス発電の導入、支援、工事	B
	2. 省エネルギー・省コスト関係 ・ビルや工場、空調の省エネ提案	B
達成度評価 S: 100%以上 A: 90%~100% B: 80%~90% C: 60%~80% D: 60%未満		
<p>Action</p>	回路変更に対する当社方針を決定後、HEMS導入予定。 くまもとFCVプロモ・ミーティング等が再開された場合には積極的に参加し、情報収集を行う予定。 自家消費太陽光発電事業の補助金申請予定。 来期の取組 省エネルギー・省コスト関係 省エネ関連製品の知識習得および販売促進 ・HEMS、蓄電装置等省エネ関連製品の提案・導入	



蓄電池15.6kWh
(7.8kWh×2)

基礎工事、蓄電池のノウハウ、電気工事まで若手社員育成の場です！



停電時用ダウンライト



太陽光パネル付きカーポート
太陽光パネル56枚 11.6kW

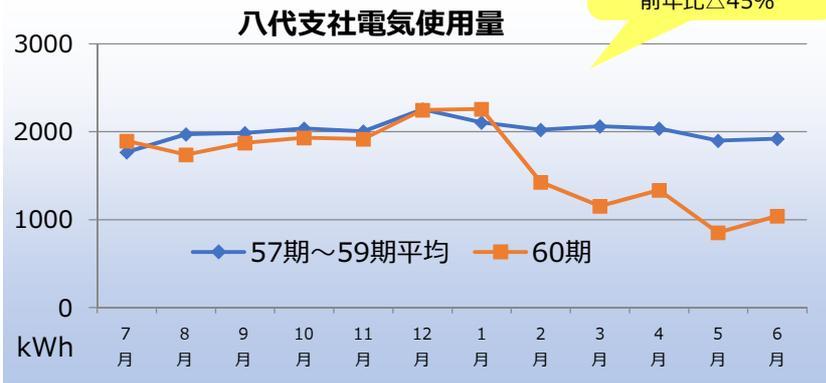
3つのチャレンジポイント

- POINT ① 太陽光発電と蓄電池で非常用電源を確保
- POINT ② 基礎工事からほぼ全て自社施工
- POINT ③ 補助金を活用

■ 八代支社太陽光パネル付きカーポートと蓄電池設備導入 ■

4月に震度7の地震を2度経験しました。イノベーション経営企画室は、いろいろな事業の可能性を探るのが役割の一つであり、BCP（事業継続計画）もその一つです。H28年2月八代支社に太陽光発電と蓄電池を組み合わせたPVカーポートを設置し、停電時でも事業が継続可能なようにコンセントやダウンライトを取り付けていました。本社社屋は半壊の認定を受け、建て替えを計画しています。来期は、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル通称ZEBなど、環境に優しく、災害等の非常時に対応できるような社屋を考えています。

H28年2月17日より
発電・蓄電開始
前年比△45%



2015年9月、新事業開発室と経営企画部を統合してイノベーション経営企画室に改組いたしました。環境に優しい技術と仕組みで“100年企業を目指す基盤づくり”を行います。八代PVカーポートはイノベーションの取組第1号です。

イノベーション経営企画室
EA21推進担当 原之園 淳子



八代支社の取組み



八代支社の周りには、地域の方々の生活通路があります。小学校帰りの生徒さん達の賑やかな声に癒されたり、去年3月植付けのヤマホロシが伸び始め、手入れをしていると、犬と散歩中の方より、「何が植えてあるんですか？」と声をかけていただいたり、地域の方々とのふれあいの良い機会になっています。まして、通路付近は気持ち良くありたいものです。工事部の皆さんの協力により、暑い時期に勢力付けた雑草の除草をして地域の環境つくりを気を配っております。



《グリーンカーテンのヤマホロシの成長》

事務所の窓の位置が高いため、所内から見れば窓の外からやっとヤマホロシが覗いている状態。横によく延びるので、添えを上継いで、上に伸びていくよう、肥料と水遣りをしていきます。



※夏場の花壇（雑草の活用＝小蜜柑草・ポーチュラカ）

《雑草を利用した、夏場の花壇づくり》

カタバミは、夏場には弱いようで陽当りの強いところでは土の表面を覆う勢いがありません。

偶然に見つけた、乾燥した土に緑の葉が元気に生えている、オジギソウに似た草を植えてみました。名前は、コミカンソウ(小蜜柑草)。夕方は、葉を閉じる。1年草らしいですが、2～3日の水遣り無しにも耐え、夏場に頼れる植物です。

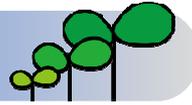
なるべく手のかからない、植物の自力に頼る花壇づくりを目指しています。夏場に色とりどりの花が咲く、安価で、毎日の水遣りしなくてもよいのでポーチュラカは、お勧めです。

花を育む土も、適量の栄養が必要ですね。

八代支社 EA21推進担当 清田 やえ子

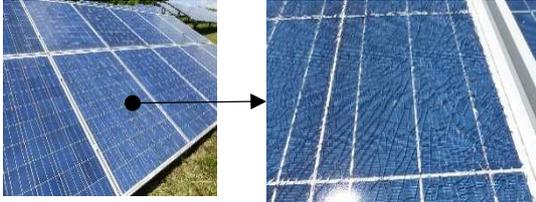


しらさぎエナジーの取組み



自然災害にも負けない メガソーラーしらさぎ益城高遊パーク

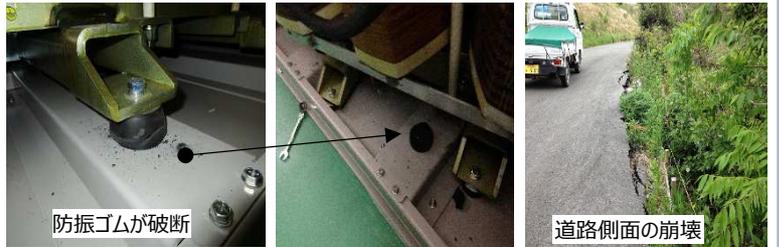
2016年2月 猛烈な寒波の到来により、メガソーラーしらさぎ益城高遊パークの太陽光発電パネル1枚が破損。パネル内に浸水した水分が寒波により凍結し、膨張した事が原因と思われる。早急に破損したパネルを交換し、発電量を確保した。



2016年4月 しらさぎエナジーが新たに太陽光発電設備（11kw）を白鷺電気保養所で開設しました。



2016年4月 最大震度7を記録した熊本地震により、PCS絶縁変圧器を支える防振ゴム（機器の振動を抑制するゴム）が大きな揺れにより断裂し、架台からズレ落ちるが大きな災害には至らなかった。震災後には連続した豪雨の日が続いたために、さまざま場所に被害が拡大した。しかし、このような大規模災害に見舞われたにも関わらず、早期な対応を行ったため太陽光発電を継続することに大きな影響はなかった。



2015年3月頃の桜の苗木

2016年6月 毎日の手入れを行いここまで成長

しらさぎエナジー 木村さん



お客様がいつでも見学できるように毎日掃除しています。
桜の苗木の成長が楽しみです。



ドラム缶本数

メガソーラーしらさぎ益城高遊パーク発電量 ドラム換算数

=ドラム缶 100本





環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規への違反はありませんでした。

環境法規制の遵守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありませんでした。

周辺住民からの環境苦情、訴訟についてもありませんでした。



法規制等	遵守事項（法規制/自主規制）	遵守評価
家電リサイクル法 P Cリサイクル法	・リサイクル料支払い（発生時のみ） ・廃棄時の適正処置（発生時のみ）	○
自動車リサイクル法	・リサイクル料支払い（発生時のみ） ・廃棄時の適正処置（発生時のみ）	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処置（発生時のみ） ・処理委託書提出、処理報告書の受理 ・特定施設の自主点検の実施	○
建設リサイクル法	・工事に係る分別、再資源化の実施 ・再資源化完了の書面報告 ・対象工事の7日前までの市町村長への届出	○
騒音規制法	・知事へ7日前までに届出（指定区域周囲80m） ・作業敷地境界にて85デシベル以下 ・空調機（本社・支社）の届出	○
振動規制法	・知事へ7日前までに届出（指定区域周囲80m） ・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管 ・委託契約書（5年間保存） ・マニフェスト伝票管理（5年間保存） ・産業廃棄物の運搬（運搬車への表示・マニフェスト伝票の携帯） ・産業廃棄物管理表交付、状況報告	○
消防法	・市町村条例で定める （指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ届出）	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	・適切な調査、設計、施工及び管理を行う ・リサイクルの結果を確認し、記録を保存	—
オフロード法	・特定特殊自動車排出ガスの規制	—
悪臭防止法	・塗料等を使用する場合の作業量や時間帯の検討	—
P R T R法	・排出量、移動量の把握、届出	—
水質汚濁防止法	・知事に60日前までに届出 ・測定を実施（記録の保存3年間）	○
下水道法	・公共下水道管理者にあらかじめ届出 ・生活環境項目については、条例による	○
毒物・劇物取扱法	・ケトンその他化学物質の表示、保管	○
地下水保全条例	・ポンプ（本社）の届出	○
浄化槽法	・定期点検、法定点検の実施	○



ごあいさつ

昭和22年2月に有限会社白鷺電気工業所として創業いたしました当社は、今年で創業69年を迎えました。

70周年を迎えるこの中期経営計画（平成27年～29年）を「100年企業を目指す基盤づくり」と位置づけて『Next Innovation29・創』をスローガンに掲げ、革新精神で新たな技術や事業に取り組む3年といたしました。

これからも「安全を最優先で、高品質な、環境にやさしい工事」という形でお納めし、めまぐるしく変化する社会のニーズにお応えできる体制と、人材育成に力を注ぎ、環境を大切にしたい企業経営で社会に信頼され続ける、白鷺電気工業はそのような会社を目指します。

2017年4月

代表者による全体評価と見直しの結果

1. 今期の環境目標に対して、軽油使用量が軒並みに達成出来ませんでした。
これは、お客様工事（停電の補償の為による）が発生したこと、また熊本地震の影響で発電機を動かす為の燃料として、軽油が増加したと思われます。
環境方針と環境目標については、引続き計画・実施して下さい。
2. 「エコサム」の活用で、環境負荷低減に一応の寄与が出来たと思います。
環境に優しい運転で安全運転にも繋がるようお願いします。
3. 本社・支社の倉庫と化学物質保管庫の整理をしていただいた事と、定期的にチェックをしていった事で、少しずつ改善が出来たと思います。
今後も、内部監査など第三者の目で保管状況のチェックをお願いします。

白鷺電気工業株式会社
代表取締役社長 沼田 幸広



